

決算説明会

第2四半期(累計)

(2012年6月期)

2012年2月14日

株式会社 アルバック

◆ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ(FPD)・半導体・太陽電池・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◆ 本資料における表示方法について

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

会計期間の表現：

2Q(累計)：第2四半期連結累計期間

2Q : 第2四半期連結会計期間

注)2010年6月期よりセグメント及び品目の表現が変更されています。

アジェンダ

- 2012年6月期(2Q(累計))業績概要
- 2012年6月期通期見通し
- 今後の事業展開について

代表取締役社長

諏訪秀則

2012/6期 上期の状況

■事業環境

- ▶超円高の状況が継続
- ▶欧州の債務危機
- ▶タイの洪水の影響

■ポジティブ要因

- ▶スマートフォン、タブレットPC用の中小型ディスプレイ、有機ELの投資は継続
 - ◆低温ポリシリコン、有機ELなど
 - ◆IGZO(酸化物半導体)液晶ディスプレイに動き
- ▶自動車関連、エコカー関連ビジネスが堅調

■ネガティブ要因

- ▶液晶TVの販売不振でパネルメーカー各社の減産が続く
 - ◆大型基板液晶の投資が停滞
 - ◆LED投資が中国、台湾を中心に延期・中止相次ぐ
- ▶PC需要が依然弱く、メモリ投資低迷続く
- ▶PVは、中国メーカーの安値攻勢で、投資計画延期・中止相次ぐ

2012/6期 2Q(累計)業績

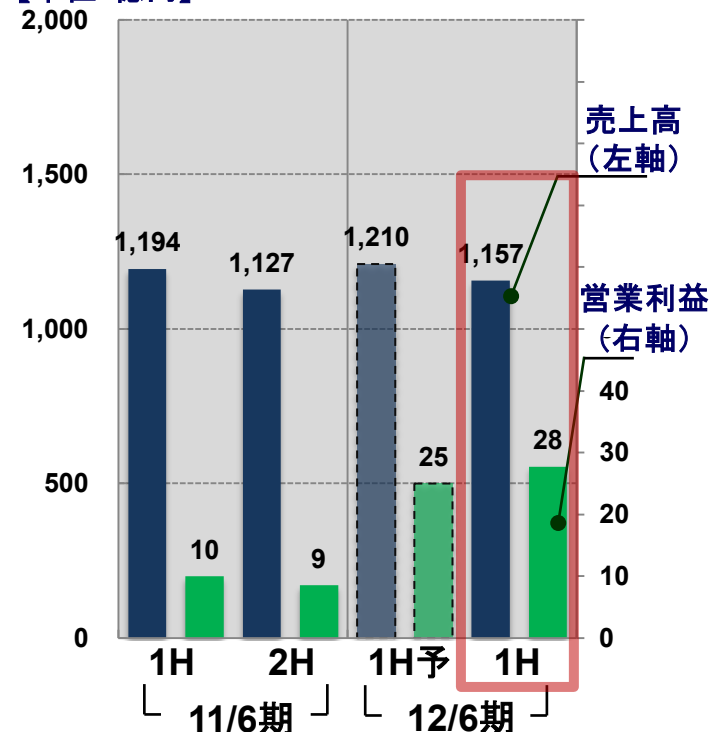
受注高は、円高、欧州債務問題などでFPD、半導体、一般産業用装置関連の計画延期が相次ぎ低迷。売上高は、有機EL、中小型液晶ディスプレイなどが寄与。
利益は、1Qは、収益性の低い電子部品、一般産業用装置の影響で、営業赤字。2Qはコストダウン、固定費削減、真空応用事業の回復などで、黒転。

【単位：億円】

	2011/6期2Q (累計)	2012/6期 2Q(累計)			
		予想	実績	予想比	
				増減額	増減率
受注高	1,023 (-14%)	980 (-4%)	822 (-20%)	-158	-16%
受注残高	910	864	756		
売上高	1,194 (+29%)	1,210 (+1%)	1,157 (-3%)	-53	-4%
営業利益	10 (-)	25 (+151%)	28 (+178%)	3	+11%
率	0.8%	2.1%	2.4%		
経常利益	8 (-)	21 (+163%)	34 (+319%)	13	+59%
率	0.7%	1.8%	2.9%		
四半期純利益	-8 (-)	4 (-)	3 (-)	-1	-37%

売上高と営業利益の推移

【単位：億円】



【()内は前年同期比、増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

品目別売上高の実績

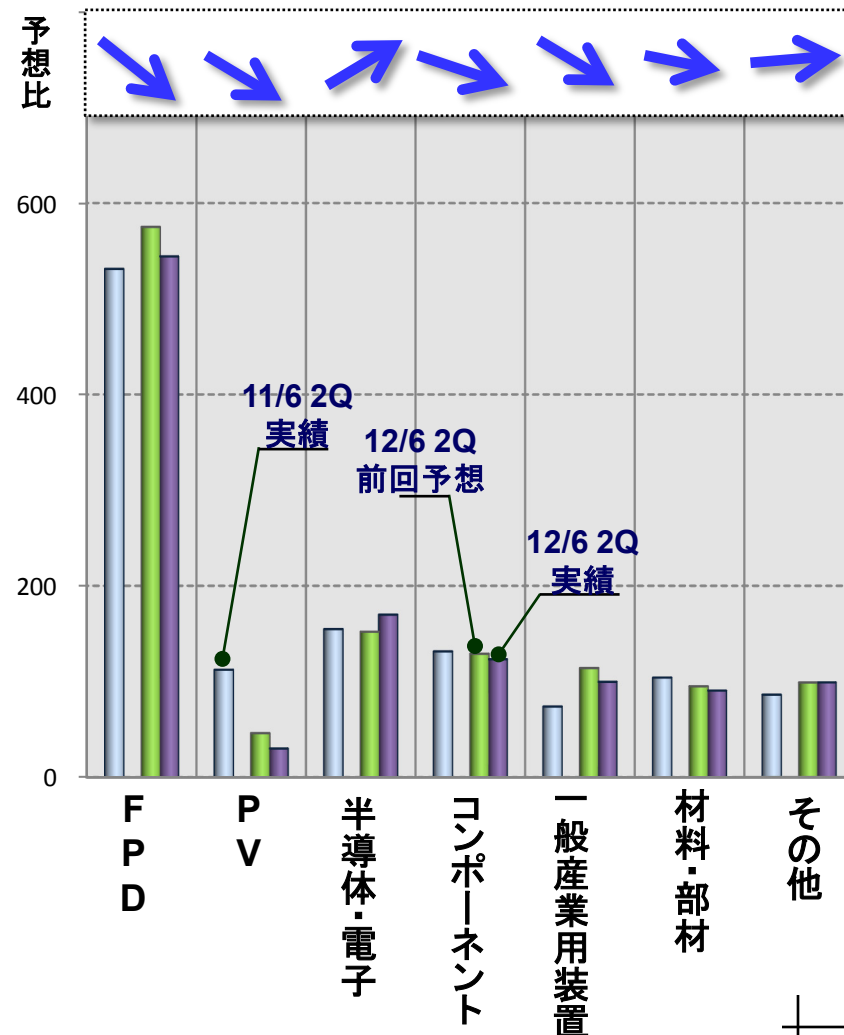
品目別の差異(前期比、予想比)

【単位:億円】

2011/6期2Q(累計)		2012/6期2Q(累計)			
セグメント及び品目		前回予想 (11/10修正)	実績		主な変動要因
			売上高	予想比 (増減率)	
真空機器事業	1,004	1,016	967	-5%	
FPD製造装置	531	575	544	-5%	LTPSや有機EL向け装置が堅調。
PV製造装置	112	46	30	-35%	薄膜は低調。化合物系、結晶系が寄与
半導体及び電子部品製造装置	155	152	170	12%	メモリは低迷。日本のLED関連が寄与。
コンポーネント	132	129	123	-4%	ほぼ予定通り
一般産業用装置	74	114	100	-13%	中国で熱処理炉が堅調。日本は伸び悩む。
真空応用事業	190	194	190	-2%	
材料・部材	104	95	91	-5%	液晶ディスプレイの減産の影響。
その他	86	99	99	0%	予定通り
合計	1,194	1,210	1,157	-4%	

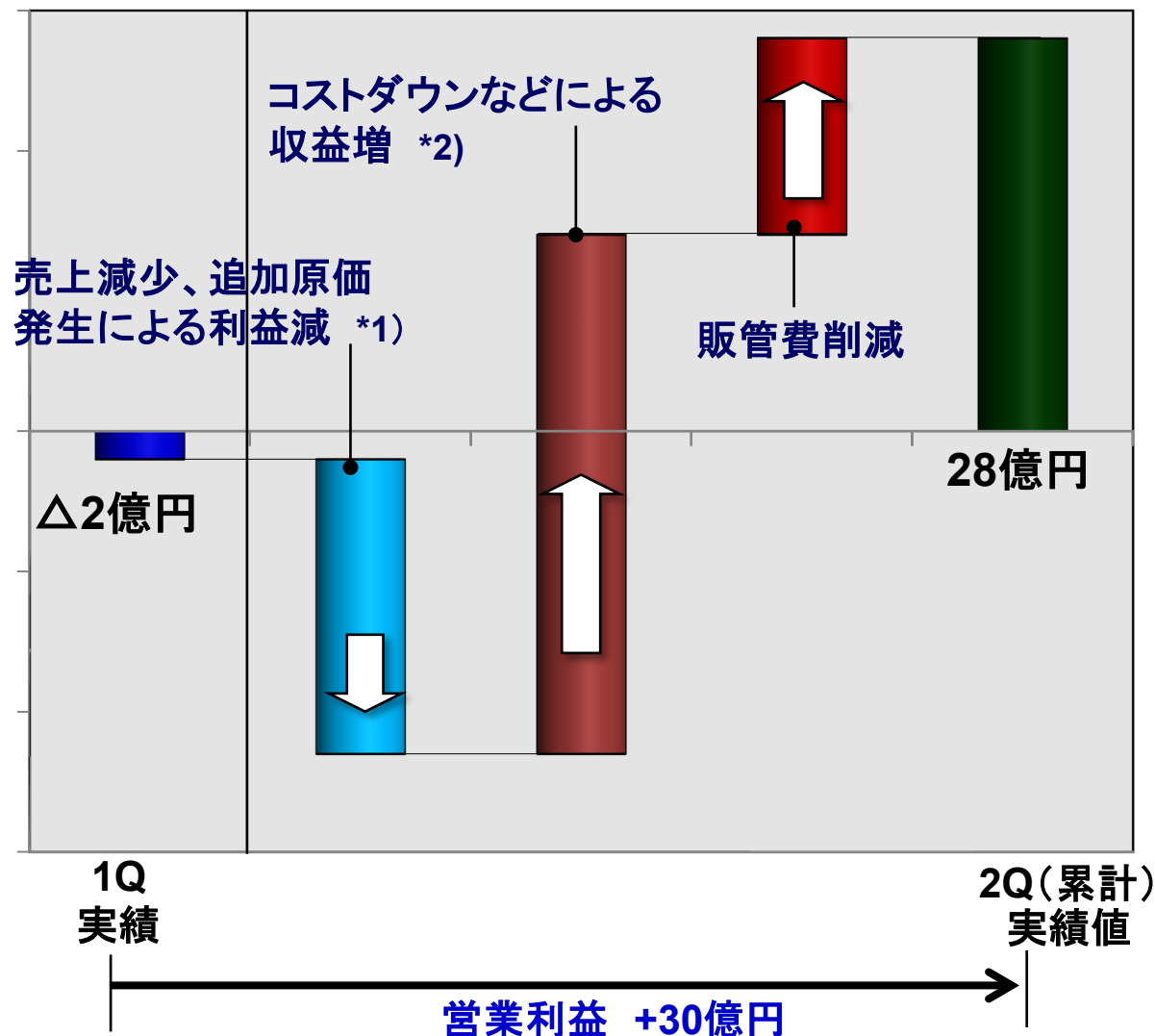
【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

【単位:億円】品目別の差異グラフ(前期比、予想比)



営業利益増減分析(2Q実績)

【単位:億円】



主な要因

*1)

- ・売上高減少
(PV、コンポーネント、一般産業用装置)
- ・追加原価の発生
(開発要素の高い一般産業用装置、FPDなど)

*2)

- ・コストダウン
(中小型液晶用装置や真空応用事業)

アジェンダ

- 2012年6月期(2Q(累計))業績
- **2012年6月期通期見通し**
- 今後の事業展開について

代表取締役社長

諏訪秀則

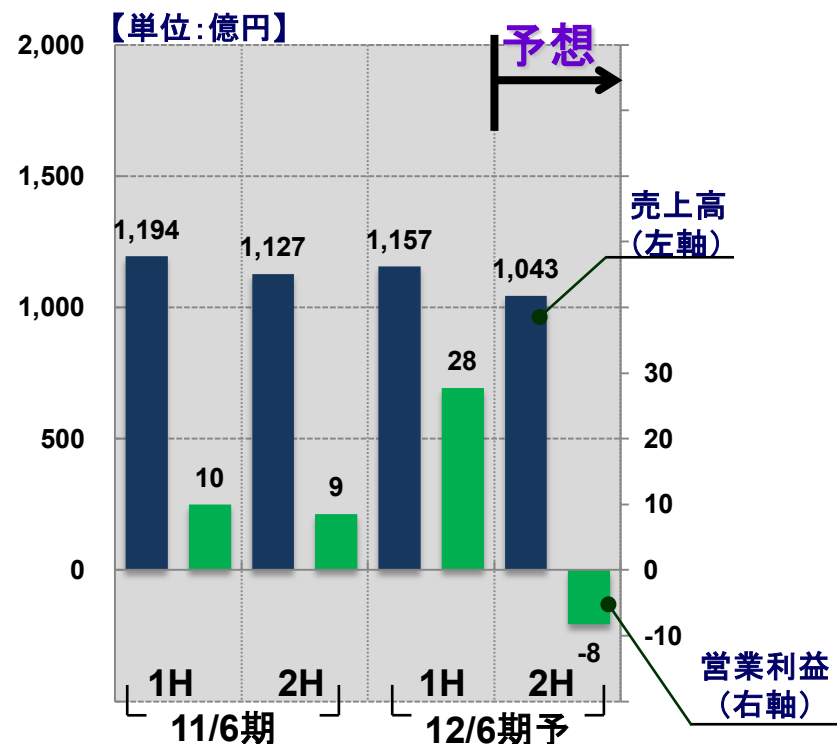
2012/6期業績予想

受注高は、FPD、半導体・電子などのエレクトロニクス関連の主要顧客の設備投資が減少し、予想値を修正。
売上高は、主にFPDとPVの受注予想の下方修正を受け、減少。
営業利益は、売上減少と開発要素の高い装置で追加原価が発生。コストダウン、固定費削減を行うが、カバーできず。下期は、営業赤字へ。 税制改正の影響などで、最終赤字に。

【単位：億円】

	2012/6期					2011/6期
	2Q(累計) 実績	下期予想		通期予想		
		前回予想	修正	前回予想	修正	
受注高	822 (-20%)	1,020	978 (-27%)	2,000	1,800 (-24%)	2,359
受注残高	756			744	691	1,109
売上高	1,157 (-3%)	1,140	1,043 (-7%)	2,350	2,200 (-5%)	2,320
営業利益	28 (+178%)	45	-8 (-)	70	19 (+3%)	19
率	2.4%	3.9%	-0.8%	3.0%	0.9%	0.8%
経常利益	34 (+319%)	42	-15 (-)	63	19 (+32%)	14
率	2.9%	3.7%	-1.4%	2.7%	0.9%	0.6%
当期(四半期)純利益	3 (-)	28	-21 (-)	31	-18 (-)	-87

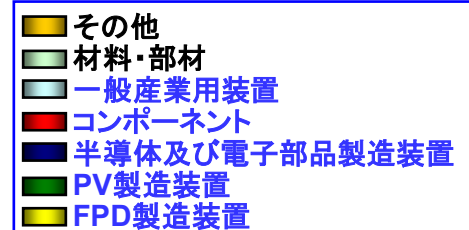
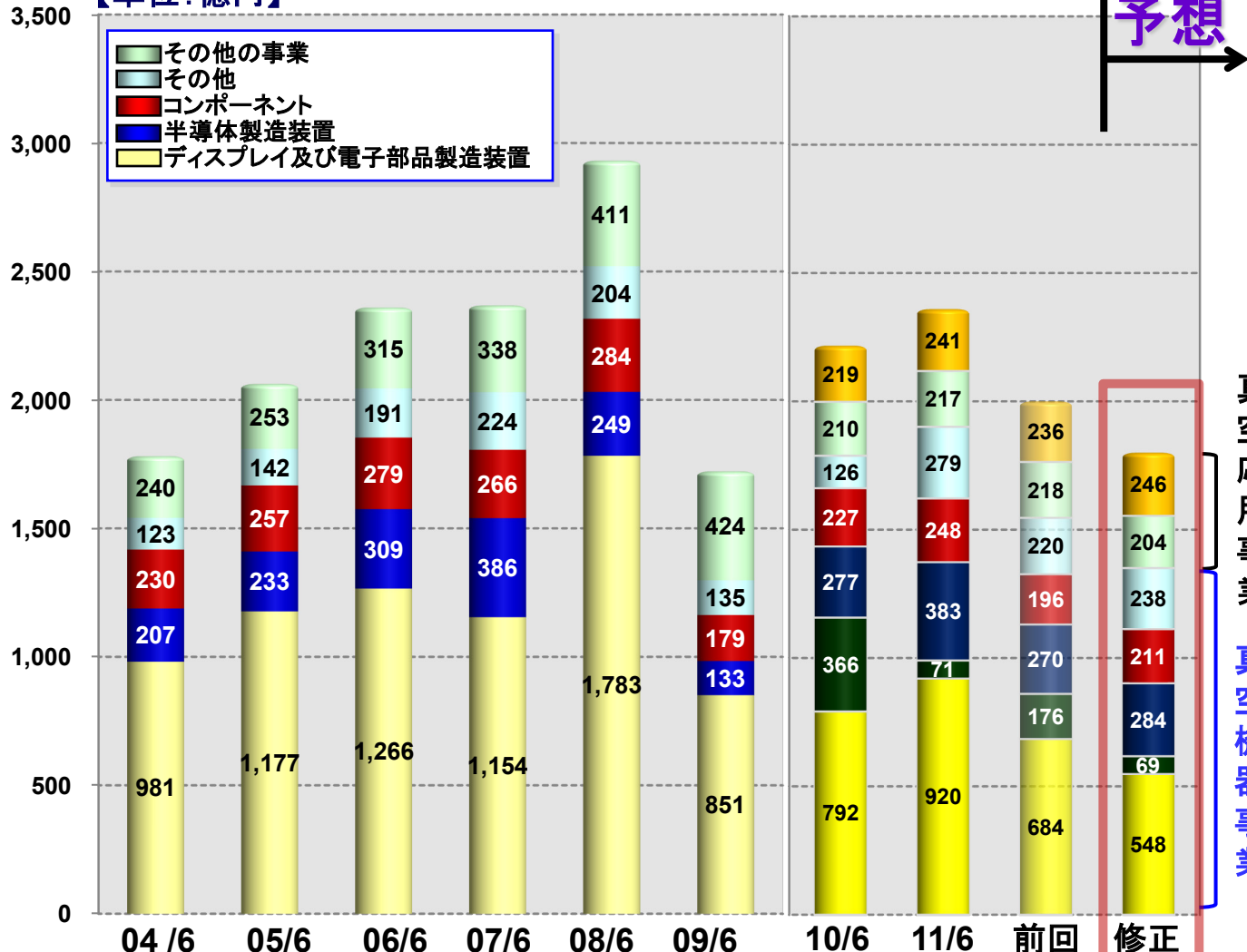
売上高と営業利益の推移(半期毎)



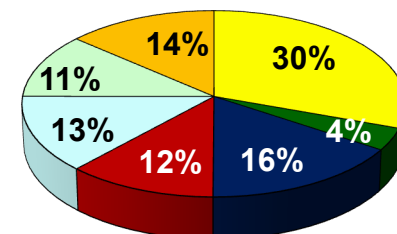
【 () 内は前年同期比、増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

品目別受注高実績・予想

【単位：億円】



受注高構成比
(12/6期予想)



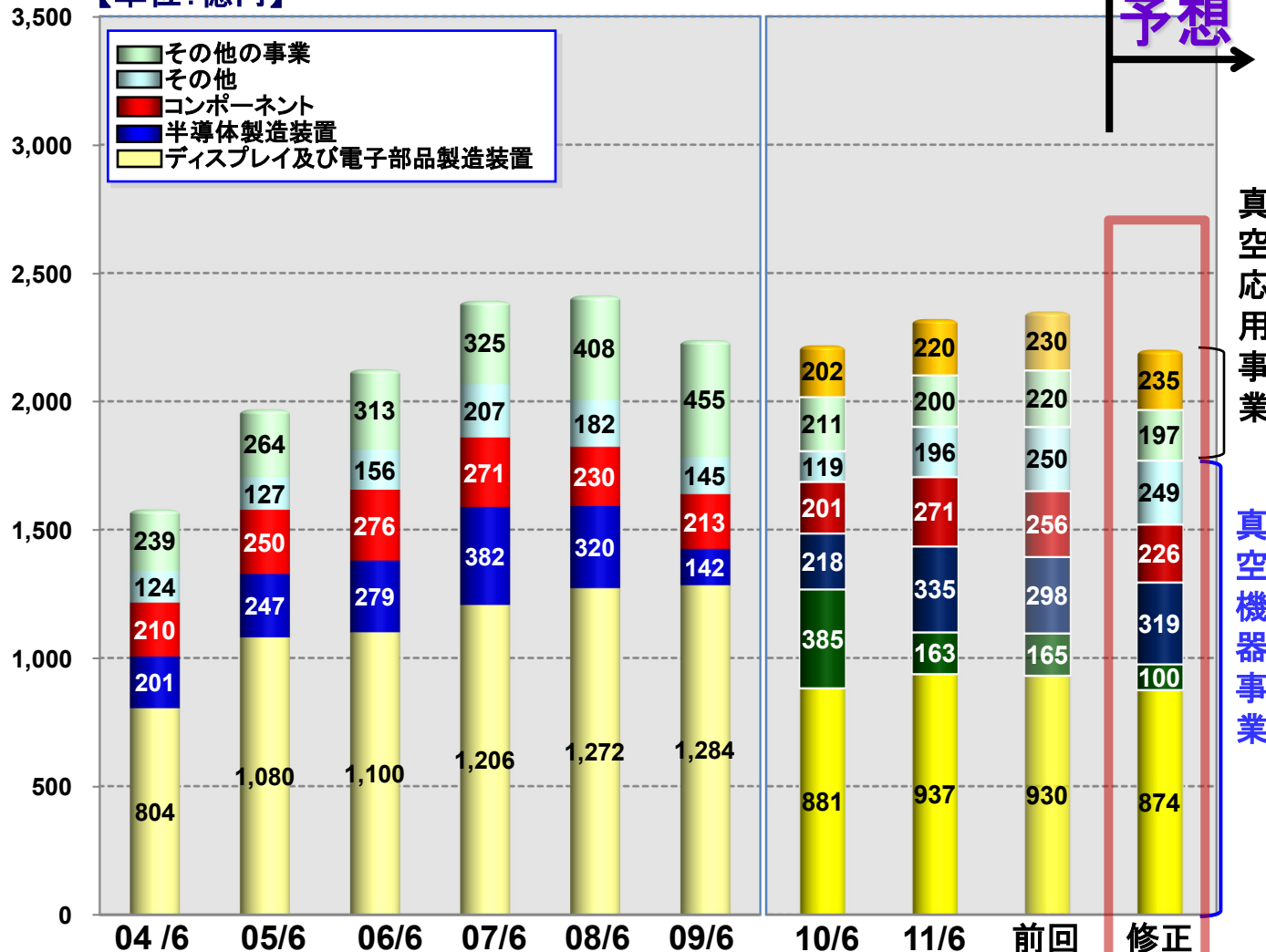
真空応用事業
真空機器事業

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。
2010年6月期よりセグメント及び品目の名称が変更されています。】

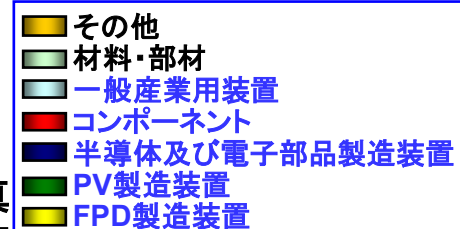
12/6予想

品目別売上高実績・予想

【単位：億円】



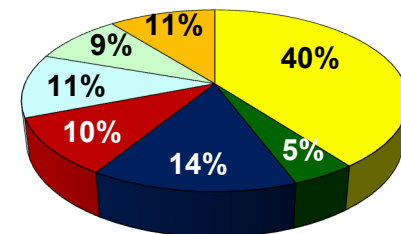
予想



真空応用事業

真空機器事業

売上高構成比
(12/6期予想)



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。
2010年6月期よりセグメント及び品目の名称が変更されています。】

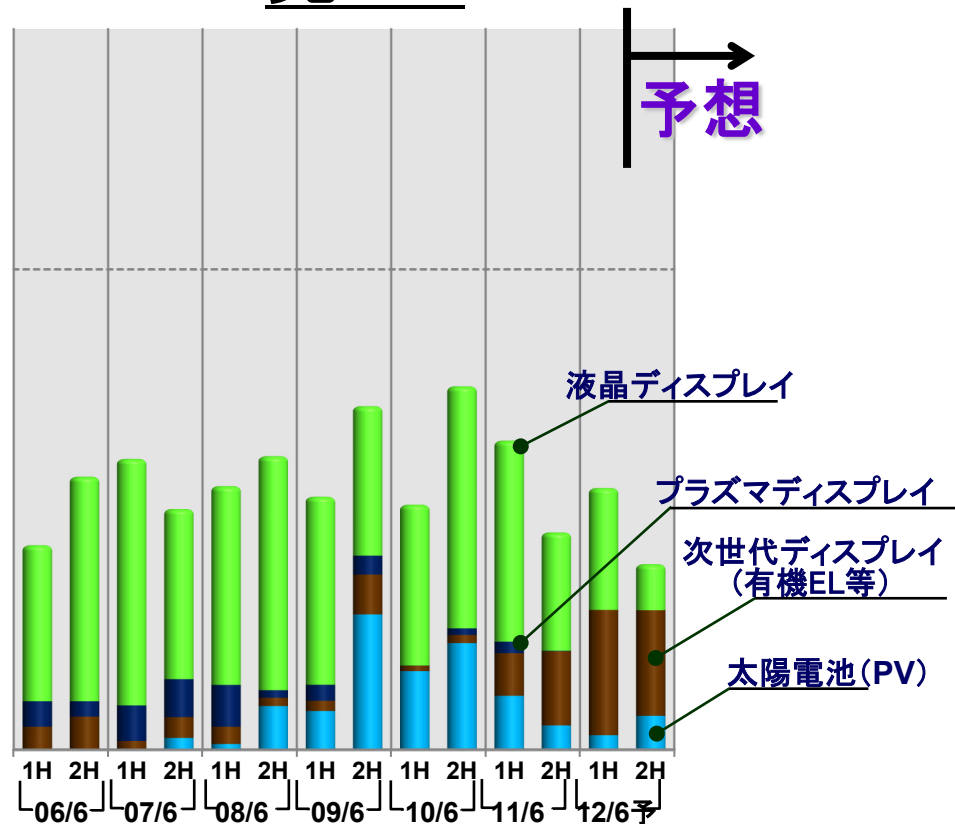
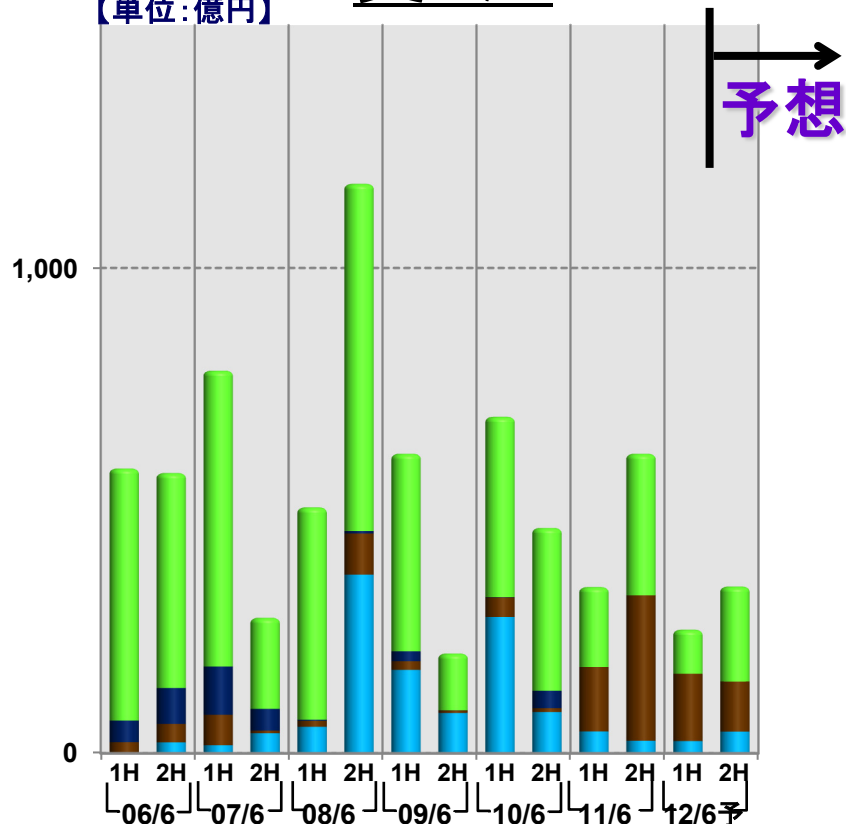
12/6予想

FPD製造装置・PV製造装置の推移・予想

受 注

売 上

【単位：億円】



足元の受注環境

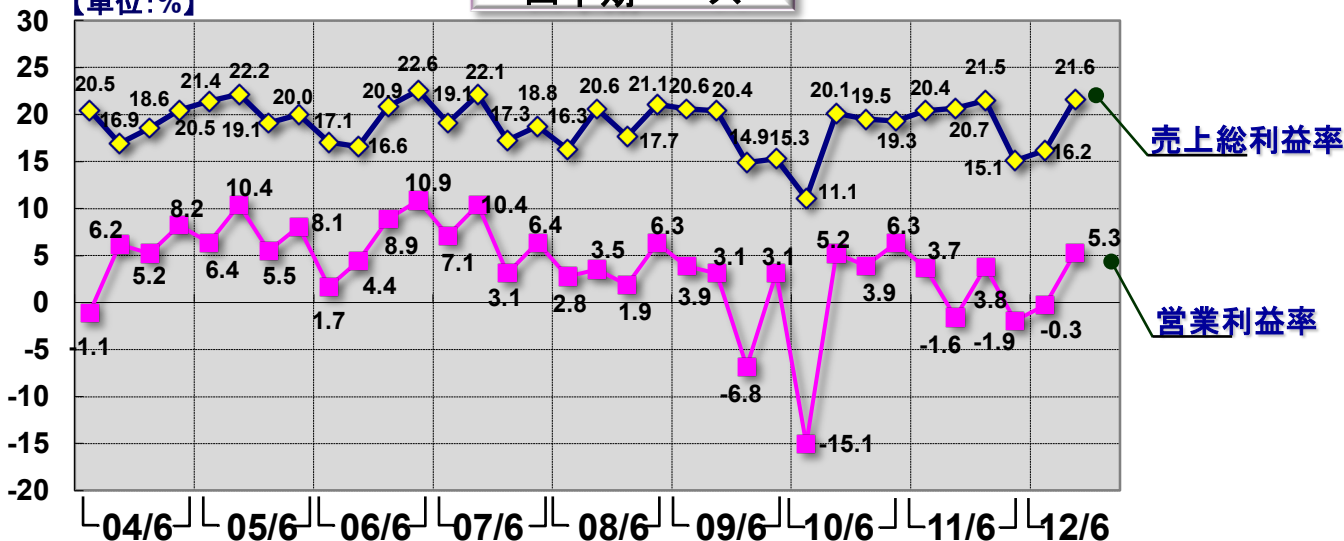
- ◆大型液晶ディスプレイは、投資意欲が減退。IGZOへのライン改造の引き合い。
- ◆モバイル関連は、中小型液晶のLTPS(低温ポリシリコン)が一服。有機ELは堅調。
- ◆有機ELは、照明、TV用などのパイロットラインの引き合い。
- ◆太陽電池は、薄膜の低調が継続。高効率結晶系、化合物系(CISなど)のPVの引き合い。

利益率の推移・予想

【単位:%】

四半期ベース

コメント



2012/6期

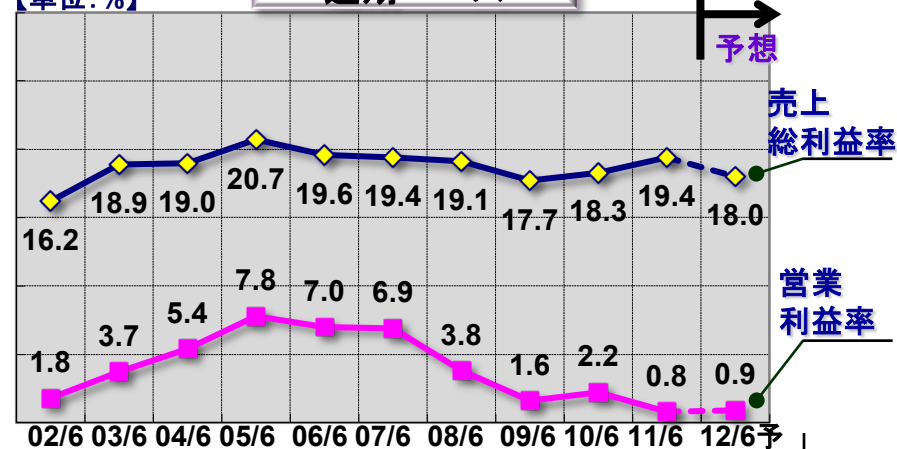
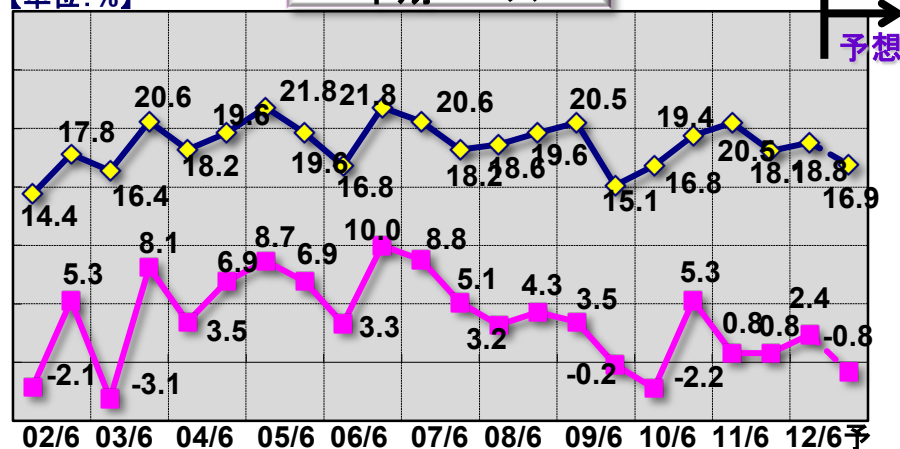
- ・上期は、1Qの営業赤字からコストダウン、固定費削減等で2Qは黒字転換。
- ・下期は、FPD、PV、コンポーネント等の売上減と追加原価発生で収益性が低下し営業赤字へ。

【単位:%】

半期ベース

【単位:%】

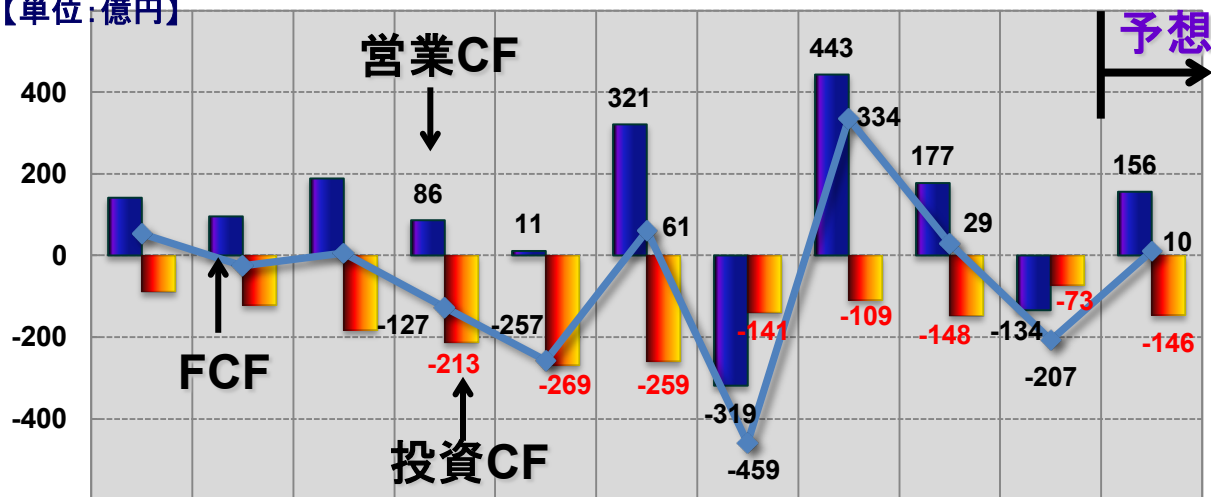
通期ベース



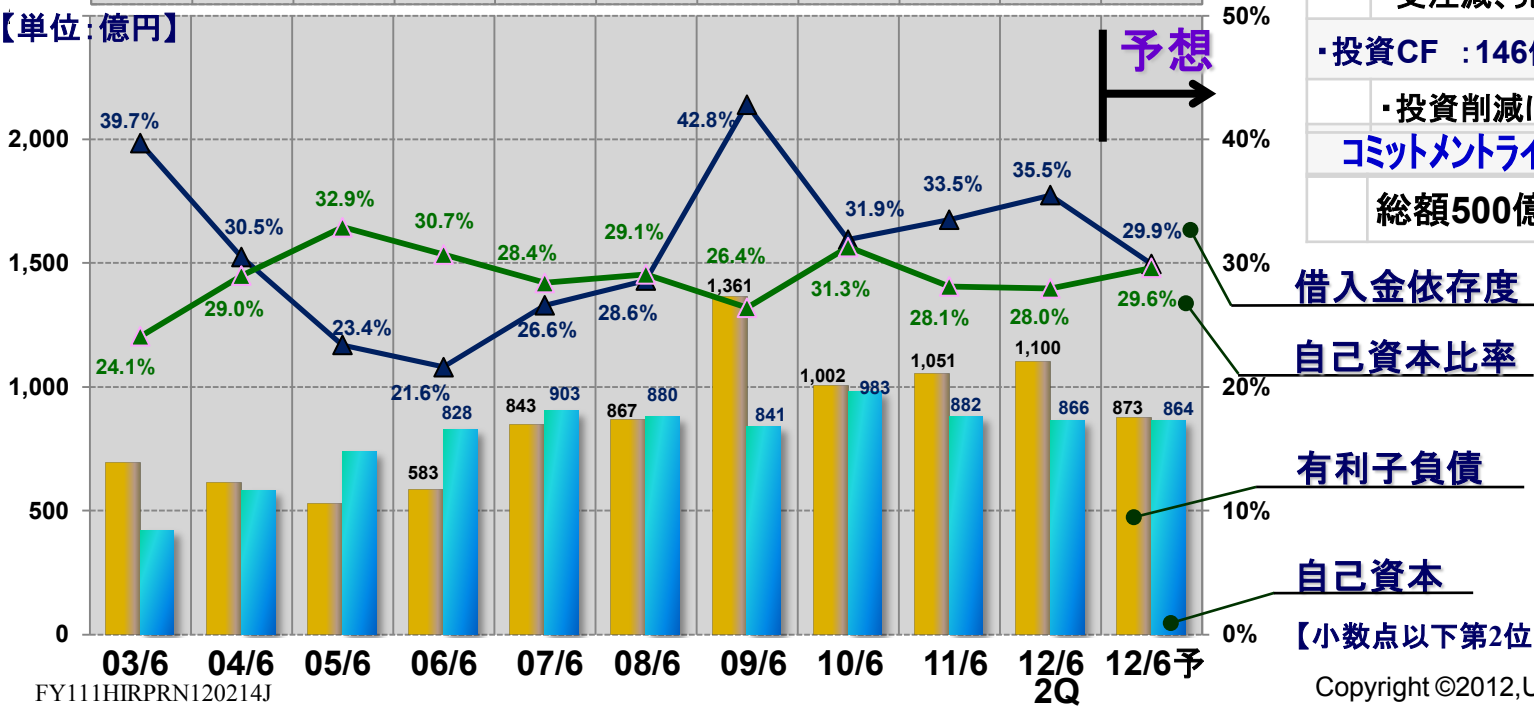
【小数点以下第2位は四捨五入】

キャッシュ・フローと有利子負債の実績・予想

【単位：億円】



【単位：億円】



2012/6期2Q（実績）

運転資金増でFCFは赤字

- ・前期4Qの受注増の影響
- ・国内大型案件の影響

2012/6期（予想）

・FCF : 10億円

・3期連続黒字化

・営業CF : 156億円

・受注減、売掛回収の増加

・投資CF : 146億円

・投資削減に伴い支出減少

コミットライン契約更新(1月)

総額500億円・9銀行参加

借入金依存度

自己資本比率

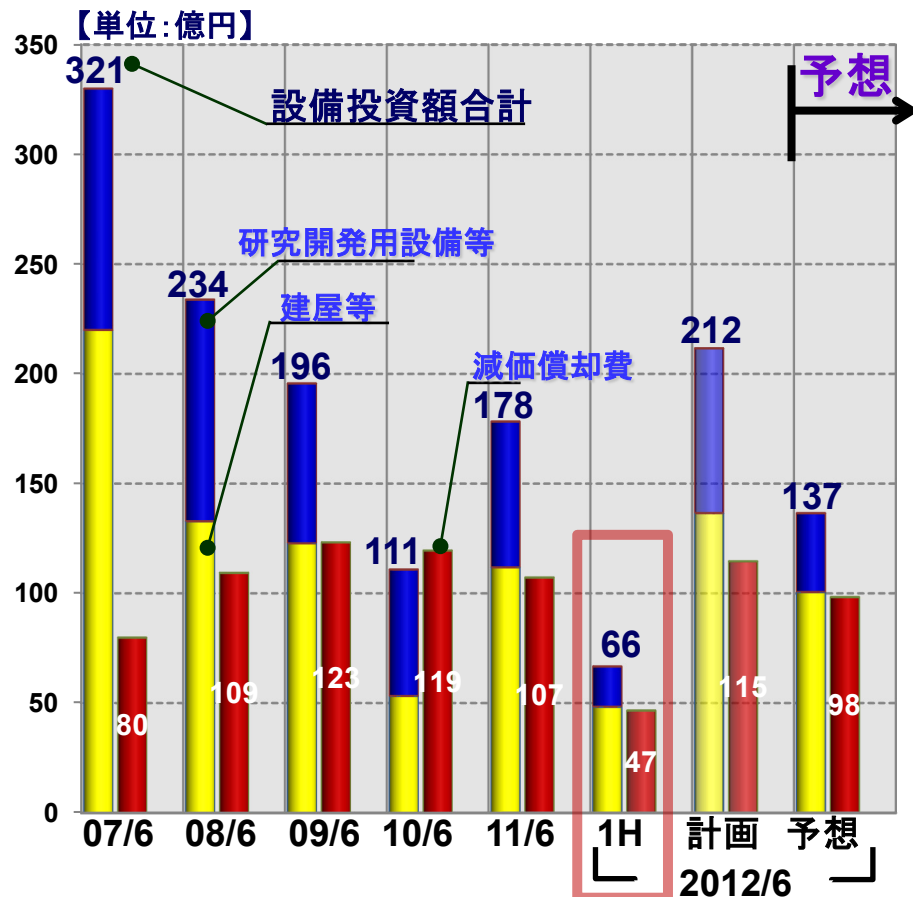
有利子負債

自己資本

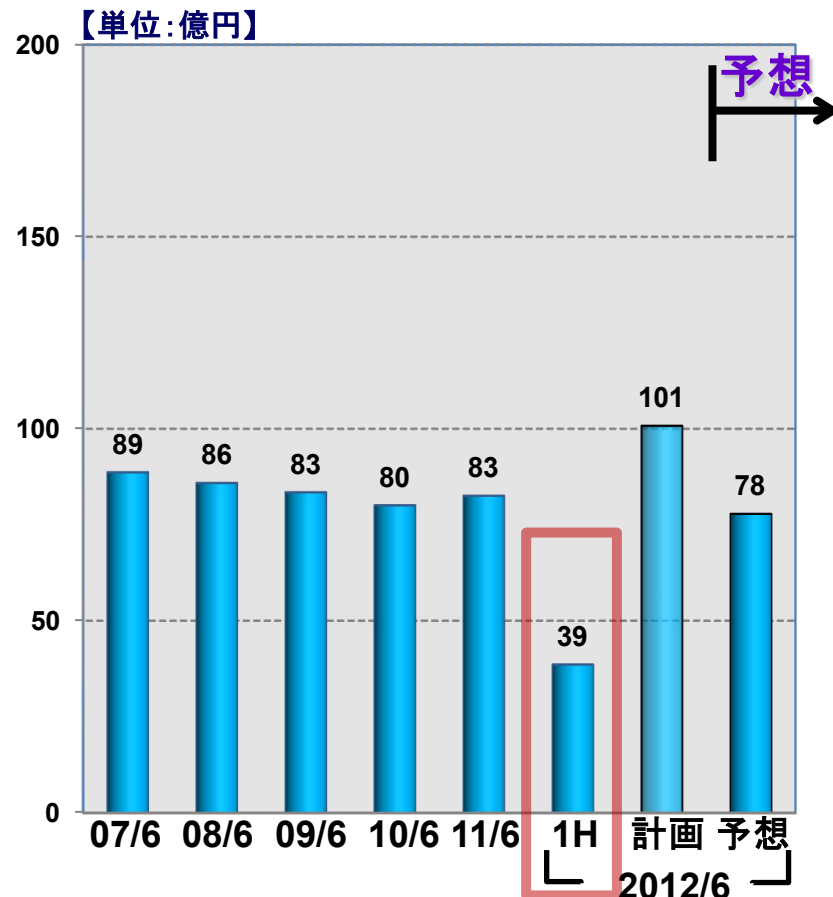
【小数点以下第2位は四捨五入】

設備投資、減価償却費、研究開発費の推移・予想

設備投資及び減価償却費の推移・予想



研究開発費の推移・予想



アジェンダ

- 2012年6月期(2Q(累計))業績概要
- 2012年6月期通期見通し
- 今後の事業展開について

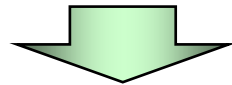
代表取締役社長

諏訪秀則

筋肉質の会社へ

■ 業績予想を修正

経営環境の急激な悪化で、受注が激減。業績見通しを修正。



急激な変化に対応できる筋肉質の会社へ

損益分岐点を引き下げ、利益体質への構造改革に着手

短期的な対策

- ◆固定費の圧縮など早急にできる対策を実施

中長期的な施策

- ◆収益性アップと商品競争力アップ
- ◆企業価値向上に向けた施策

(2015年 売上高4,000億円、営業利益率10%の目標は見送り、当面は、体質改善に注力)

今後の対応について

■ 短期的な対策(実行中)

固定費の削減

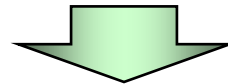
- ・ 人件費削減
 - ・ 役員報酬カット (50%～30%)
 - ・ 事業部長、管理職給与カット (10～5%)
 - ・ 一時帰休など
- ・ 経常経費削減

変動費の削減

- ・ 調達コストダウン
- ・ 海外調達の増加
- ・ 海外への生産シフトを加速

投資額削減

- ・ 減価償却費削減
 - ・ 設備投資削減
 - ・ 研究開発投資削減



損益分岐点の引き下げ

今後の対応について

■ 中長期的な施策

グローバル化の推進

- ◆ 海外生産比率を約20%から早期に50%以上に
- ◆ 海外法人へ人材シフト（現状の3倍以上）
- ◆ 日本の新卒採用を止めグローバル採用へ

3S+1Dの徹底と推進

「単純化(S)」「共通化(S)」「標準化(S)」+「差別化(D)」の推進による収益性アップ

- ◆ 3Sを徹底した、もの作りの推進でコストダウンと追加原価削減
- ◆ 競争優位性ある「ダントツ(D)製品」で価格競争力アップ

ROICを意識した経営

- ◆ C/F経営と資産効率を意識した経営の推進
- ◆ 設備投資額は減価償却費以下に抑制
- ◆ 固定資産（デモンストレーション装置）の売却の促進など

単純化: Simple、共通化: Same、標準化: Standard、
差別化: Difference

イノベーションを推進

最終製品

1.次世代ディスプレイ他 装置分野

- ◆ 有機薄膜
(有機ELディスプレイ、有機EL照明)
- ◆ 酸化物半導体(IGZO)TFT
- ◆ タッチパネル
- ◆ e-ペーパー
- ◆ フレキシブルディスプレイ

2.エネルギー・環境関連 装置分野

- ◆ 高効率結晶系PV
- ◆ 高輝度LED
- ◆ パワー半導体(IGBT、SiC)
- ◆ 薄膜Li電池
- ◆ エコカー(HV、EV)、急速充電器
- ◆ PV用コンディショナー

3.材料・資源関連

- ◆ 液晶ディスプレイ用新材料(IGZO、Cu合金)
- ◆ 希土類磁石
- ◆ プラスチックのハードコーティング
(ガラスの代替)
- ◆ リサイクル(ITOターゲット)
- ◆ リフラクトリーメタルの加工

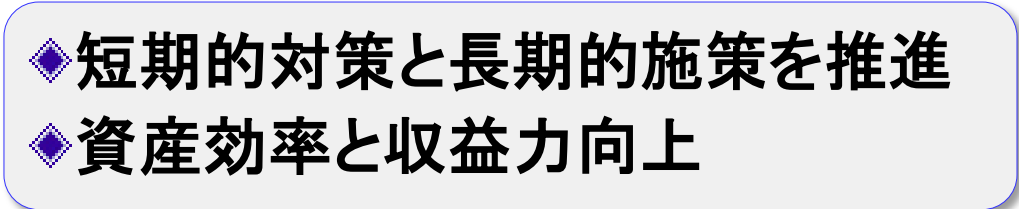
サマリー

■今後の事業環境の認識

- ▶超円高の継続
- ▶日本市場の衰退進行
- ▶大型液晶ディスプレイ、薄膜PVの大型投資は期待しない

■アルバックの対応

- ▶景気変動の大きな波に対する対応力アップ
- ▶大型液晶ディスプレイや薄膜PVに代わる事業の柱として、小規模多品種な新規事業で対応

- 
- 
- ◆短期的対策と長期的施策を推進
 - ◆資産効率と収益力向上



再成長するための準備を着々と推進

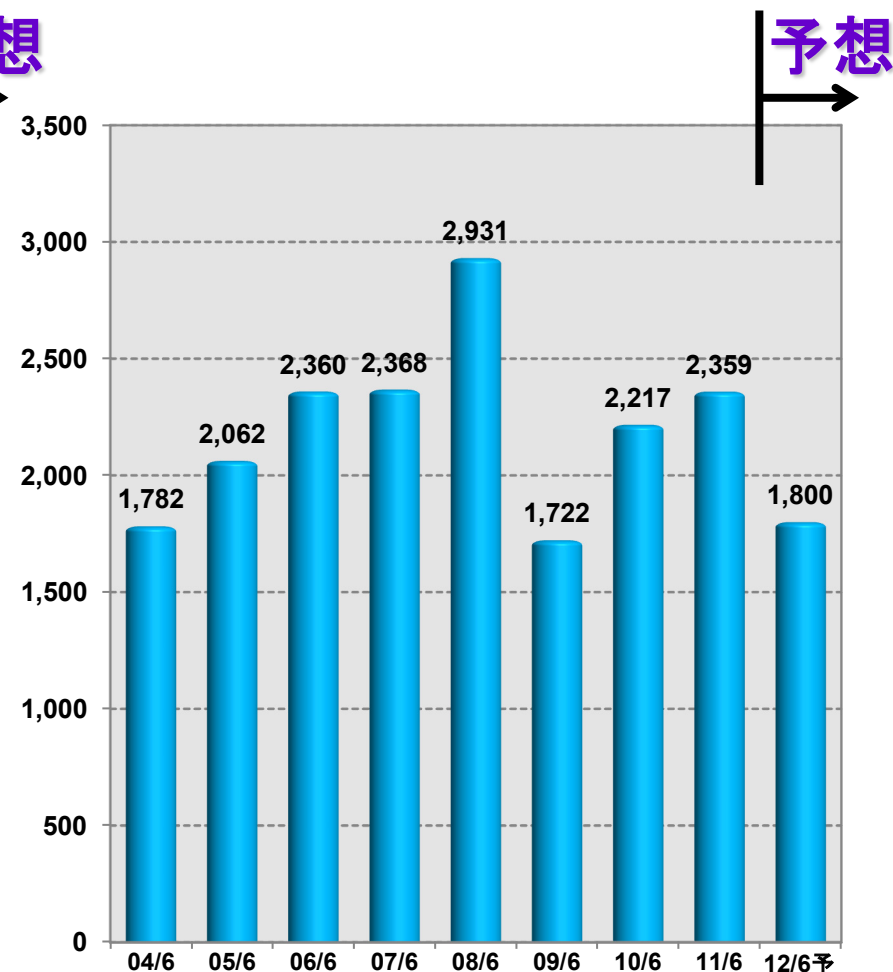
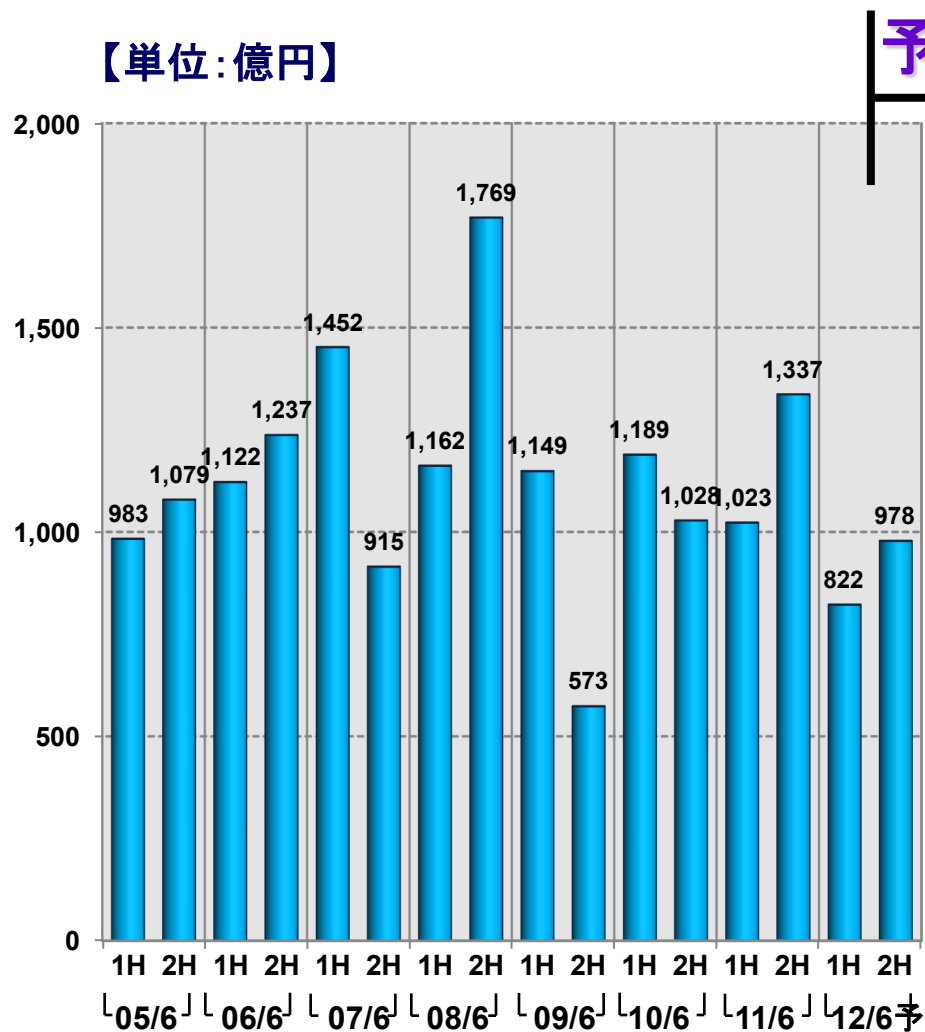
真空テクノロジーで
「つくる」をつくる、アルバック

ULVAC

本日は
ありがとうございました

受注高推移・予想

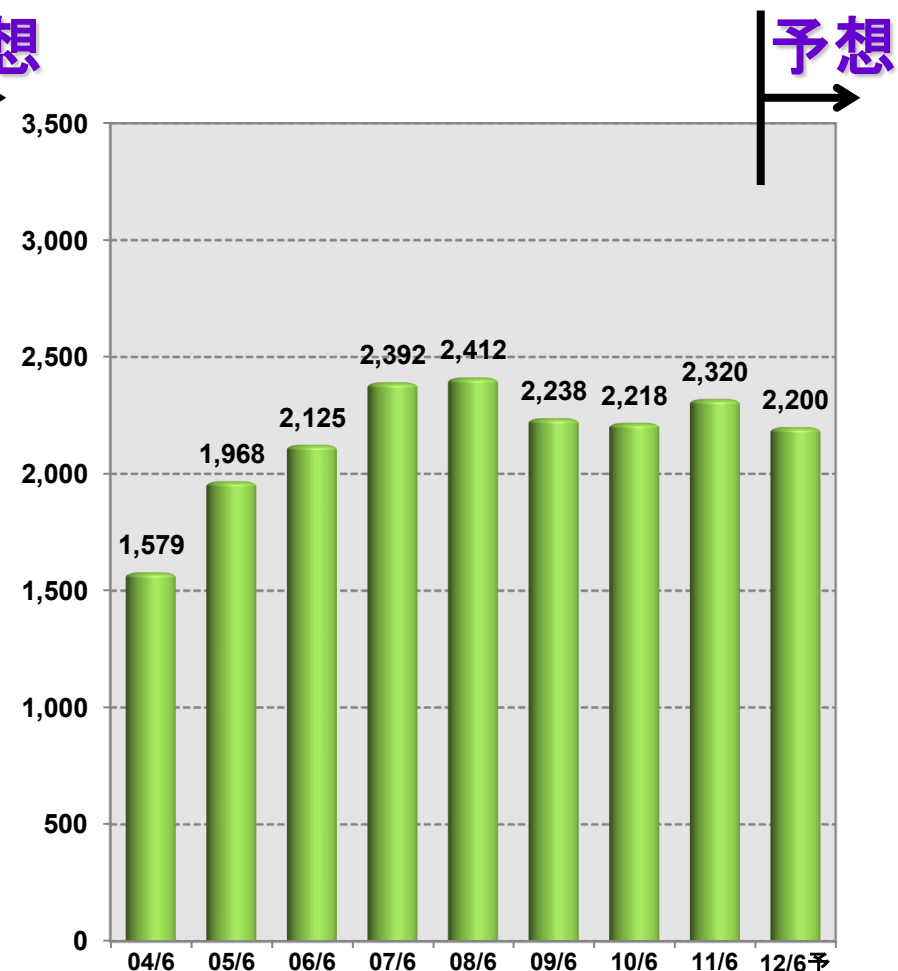
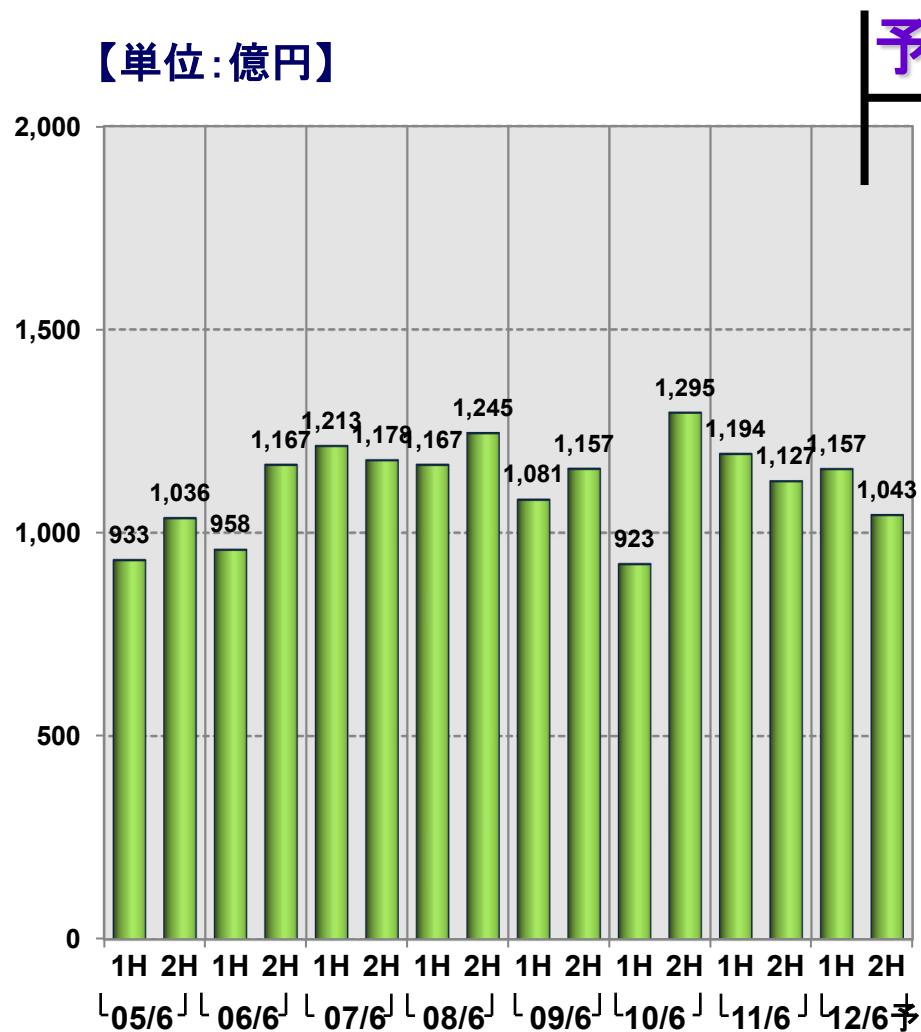
【単位：億円】



【小数点以下は四捨五入】

売上高推移・予想

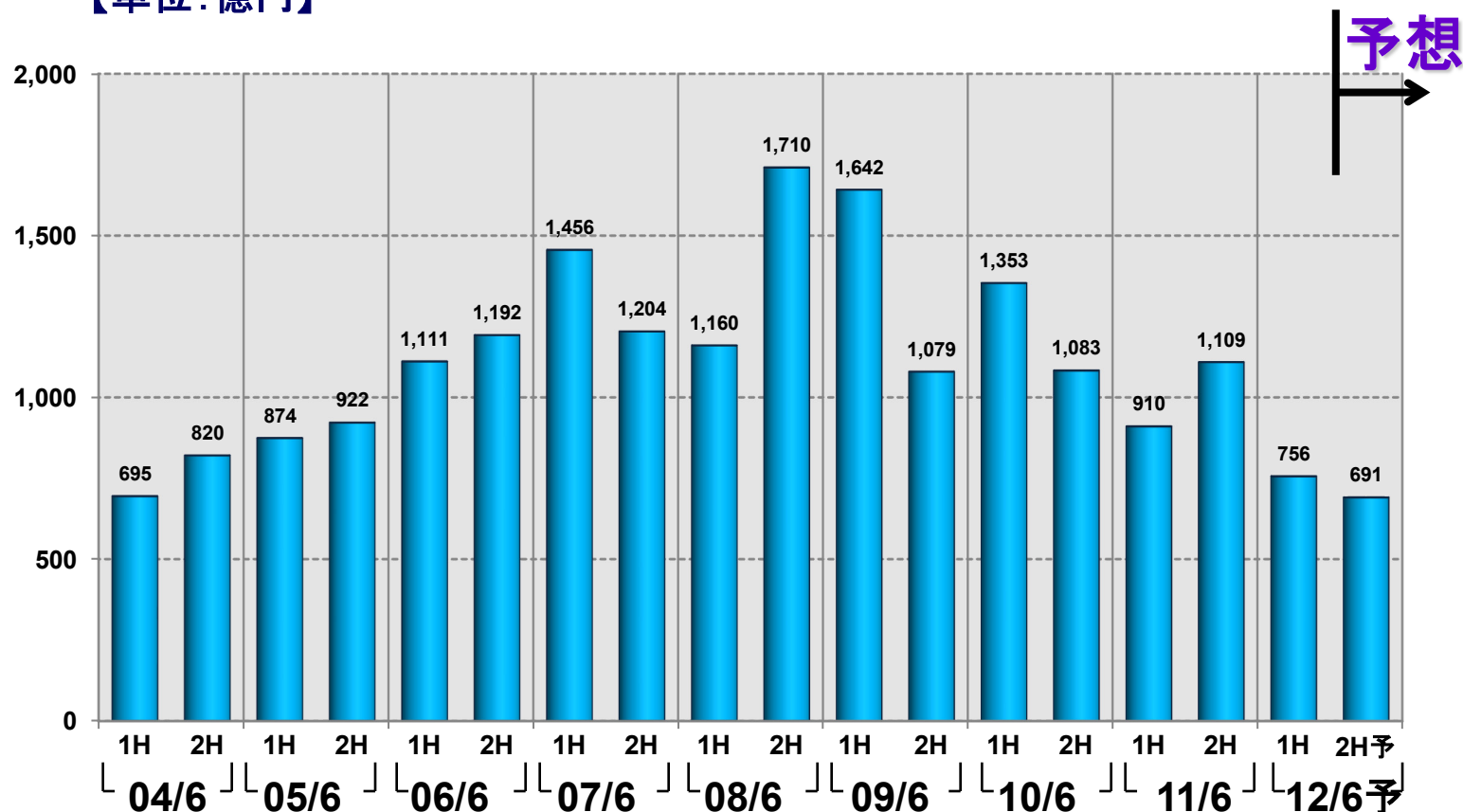
【単位：億円】



【小数点以下は四捨五入】

受注残高推移・予想

【単位：億円】



【小数点以下は四捨五入】

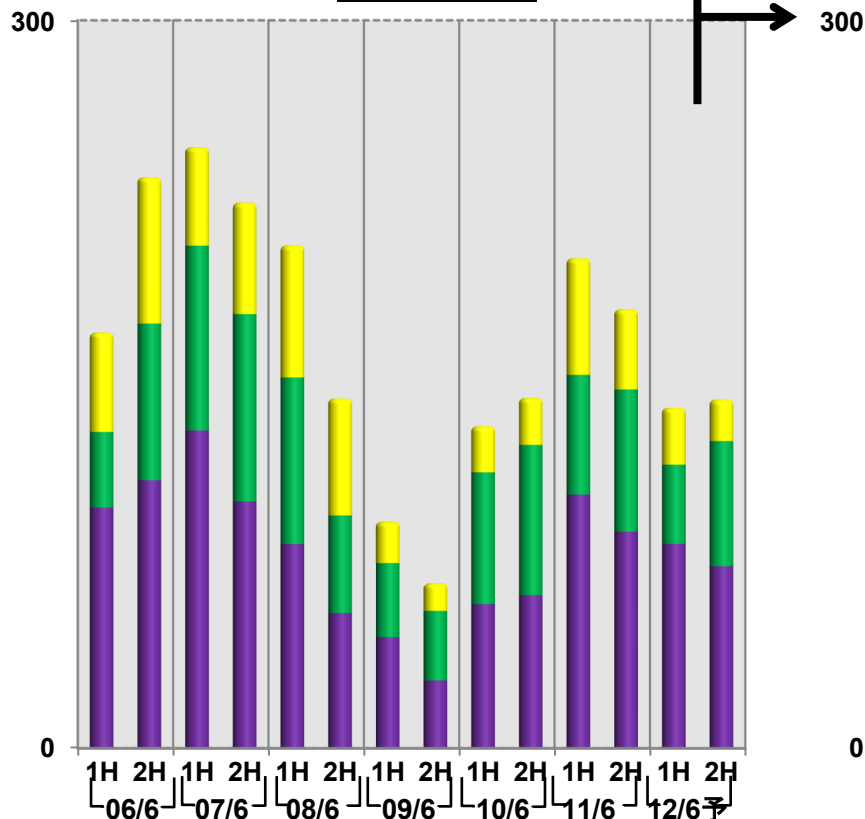
半導体及び電子部品製造装置の推移・予想

添付資料

【単位:億円】

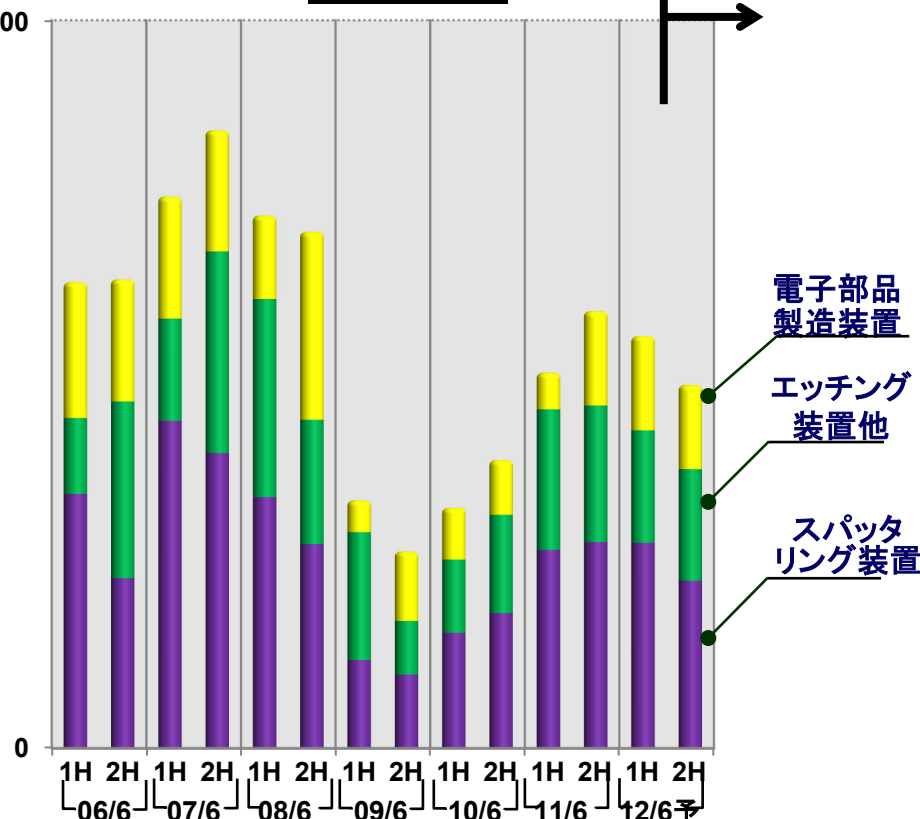
受 注

予想



売 上

予想



足元の受注環境

- ◆ DRAM、フラッシュメモリは引き続き低迷。
- ◆ LED関連は中国、台湾で失速。一方、日本を中心に高輝度LEDの引き合い・受注は堅調。
- ◆ パワー半導体は日本を中心に引き合い・受注が増加傾向。

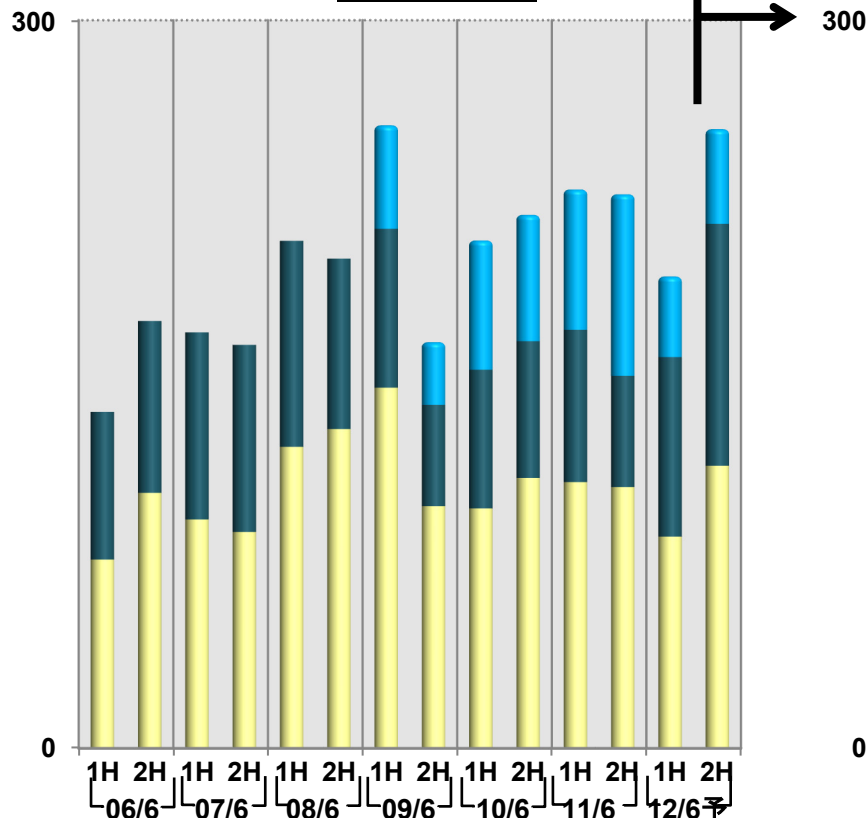
真空応用事業(その他の事業)の推移・予想

添付資料

【単位:億円】

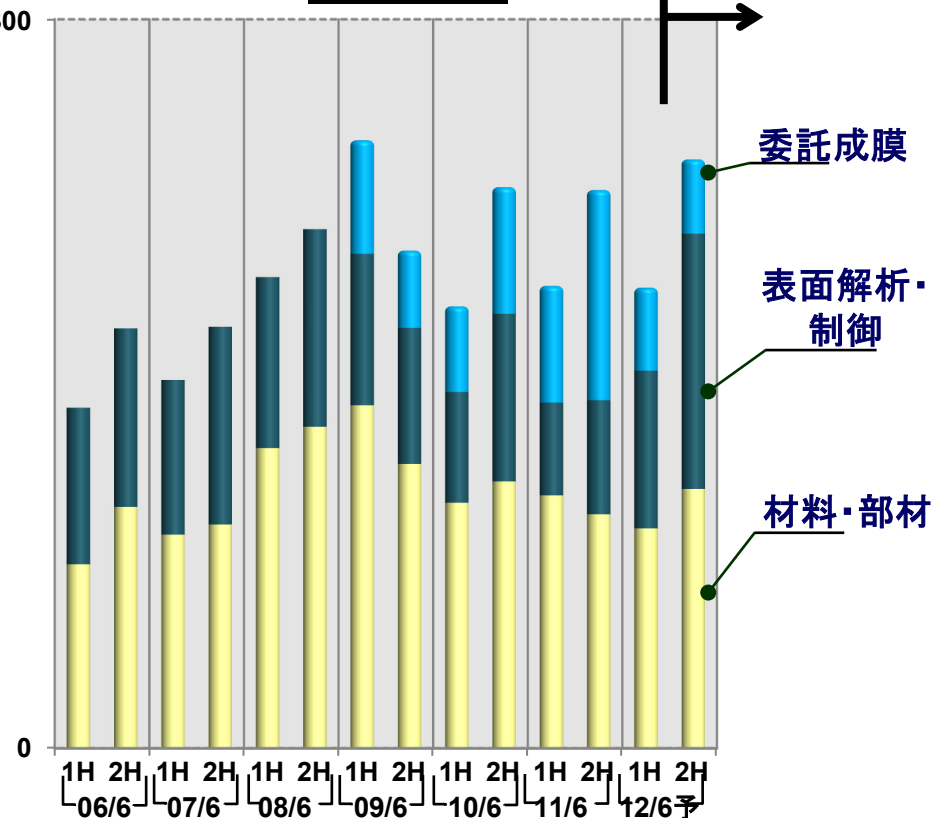
受注

予想



売上

予想



足元の受注環境

- ◆ FPD(液晶、有機EL)向けにIGZO(透明酸化物半導体)やCuターゲットなど新規材料の引き合い増加。
- ◆ 大型液晶ディスプレイ用スパッタリングターゲットは、パネルメーカーの減産の影響で受注が伸び悩む。
- ◆ 制御システム関連は自動車業界などの回復で引き合い・受注増の見込み。

2012/6期 上期のトピックス

添付資料

《拠点》

アルバック5番目の研究所を韓国に設立



《新製品》

G-TRANシリーズ「マルチイオンゲージSH2」(左)
自動高速分光エリプソメータ「UNECS-3000A」(右)
を開発、販売開始



《新製品》

三次元構造デバイス向けシリサイドプロセス用成膜装置
「ENTRON-EX2 W300 CVD-Ni/CVD-Co」
を開発、販売開始



7月

8月

9月

10月

11月

12月

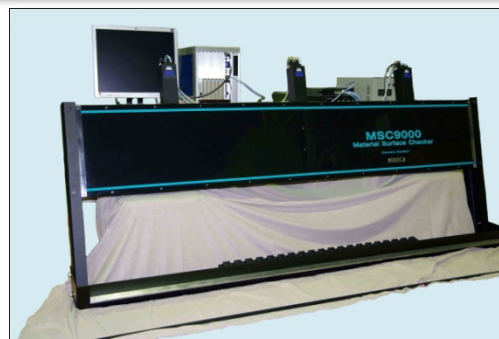
《環境》

電動アシスト自転車バッテリー用充電システム
「ハイブリッドサイクルピット」を
茅ヶ崎市公園に設置



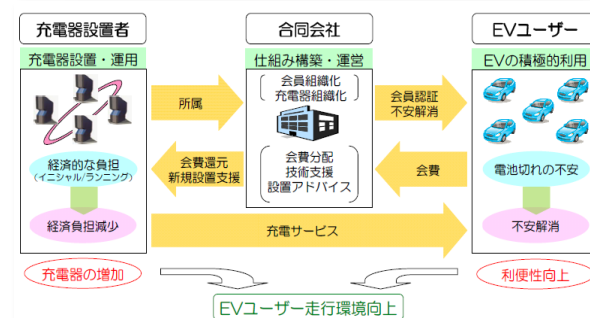
《新製品》

コイルセンター、コンパレーティング業界向け新表面欠陥
検出装置「MSC9000」を開発、販売開始



《出資》

会員制急速充電サービスを行う
「合同会社充電網整備推進機構」に出資



連結貸借対照表(資産の部)

添付資料

【単位: 億円】

	11/6期 2Q (参考)	11/6期	12/6期 2Q	増 減
流動資産	2,031	2,010	1,993	△ 17
固定資産	1,127	1,126	1,104	△ 22
有形固定資産	904	871	863	△ 8
無形固定資産	46	55	59	4
投資その他の資産	177	200	182	△ 19
資産合計	3,158	3,136	3,097	△ 39

資産の部: 39億7百万円減

◆流動資産: 16億76百万円減

- ◆現金及び預金 : 167億81百万円減少
- ◆たな卸資産 : 36億87百万円増加
- ◆受取手形及び売掛金 : 132 億90百万円増加

◆固定資産: 22億31百万円減

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

連結貸借対照表(負債・純資産の部)

添付資料

【単位: 億円】

	11/6期 2Q (参考)	11/6期	12/6期 2Q	増 減
(負債の部)				
流動負債	1,678	1,750	1,696	△ 54
固定負債	486	466	496	30
負債合計	2,164	2,216	2,192	△ 24
(純資産の部)				
純資産合計	995	920	905	△ 15
負債純資産合計	3,158	3,136	3,097	△ 39

負債の部 : 23億69百万円減少

- ・短期借入金 : 106億51百万円増加
- ・コマーシャル・ペーパー : 100億円減少
- ・前受金 : 43億3百万円減少

純資産の部: 15億39百万円減少

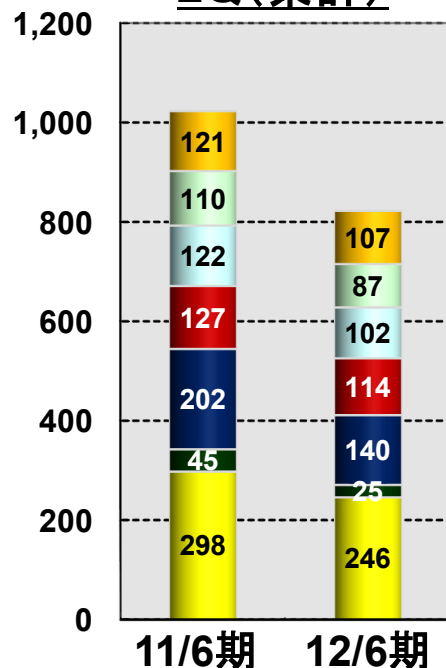
- ◆その他の
包括利益累計額 : 18億30百万円減少

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

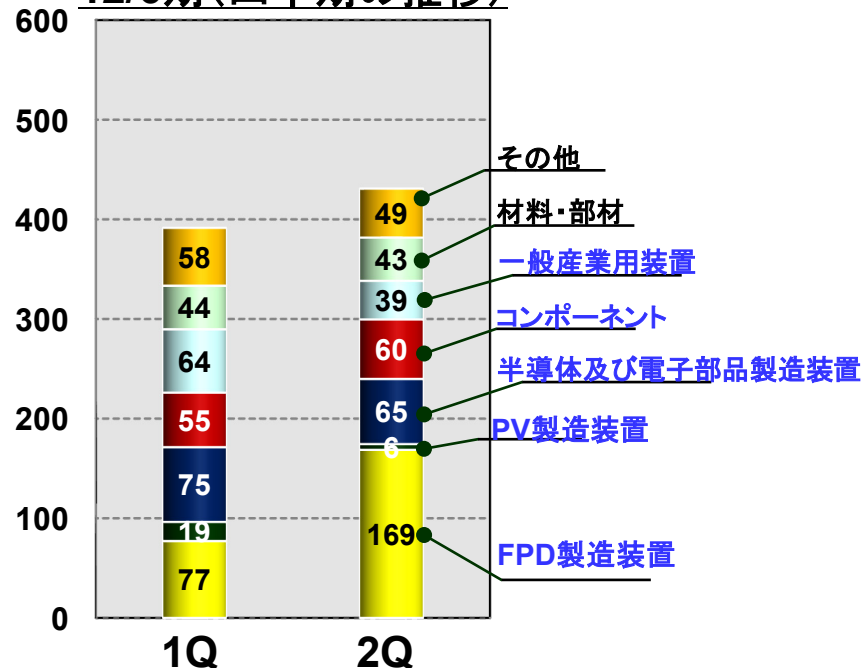
品目別受注高の実績

【単位:億円】

2Q(累計)



12/6期(四半期の推移)



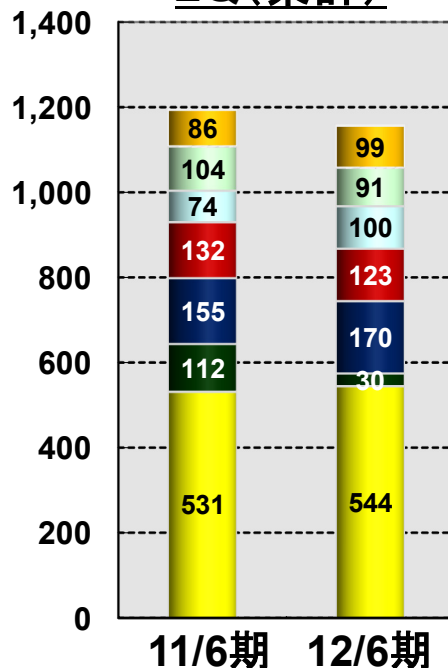
11/6期 2Q(累計)			12/6期 2Q(累計)			前年同期比 (増減率)
セグメント	受注高	構成比	受注高	構成比	受注高	
真空機器事業	792	77.5%	628	76.4%	-20.8%	
FPD製造装置	298	29.1%	246	29.9%	-17.4%	
PV製造装置	45	4.4%	25	3.0%	-44.3%	
半導体及び電子部品製造装置	202	19.7%	140	17.1%	-30.5%	
コンポーネント	127	12.4%	114	13.9%	-9.6%	
一般産業用装置	122	11.9%	102	12.4%	-15.8%	
真空応用事業	230	22.5%	194	23.6%	-15.6%	
材料・部材	110	10.7%	87	10.6%	-20.5%	
その他	121	11.8%	107	13.0%	-11.1%	
合計	1,023	100.0%	822	100.0%	-19.6%	

セグメント	1Q		2Q	
	受注高	構成比	受注高	構成比
真空機器事業	290	74.0%	338	78.5%
FPD製造装置	77	19.7%	169	39.1%
PV製造装置	19	4.9%	6	1.3%
半導体及び電子部品製造装置	75	19.2%	65	15.2%
コンポーネント	55	14.0%	60	13.9%
一般産業用装置	64	16.2%	39	9.0%
真空応用事業	102	26.0%	93	21.5%
材料・部材	44	11.2%	43	10.1%
その他	58	14.8%	49	11.4%
合計	391	100.0%	431	100.0%

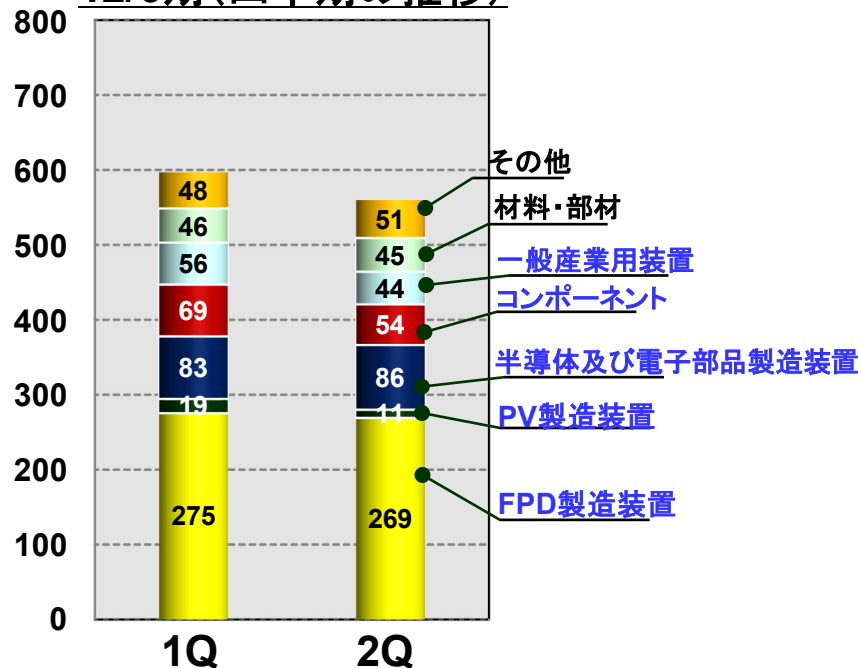
品目別売上高の実績

【単位:億円】

2Q(累計)



12/6期(四半期の推移)

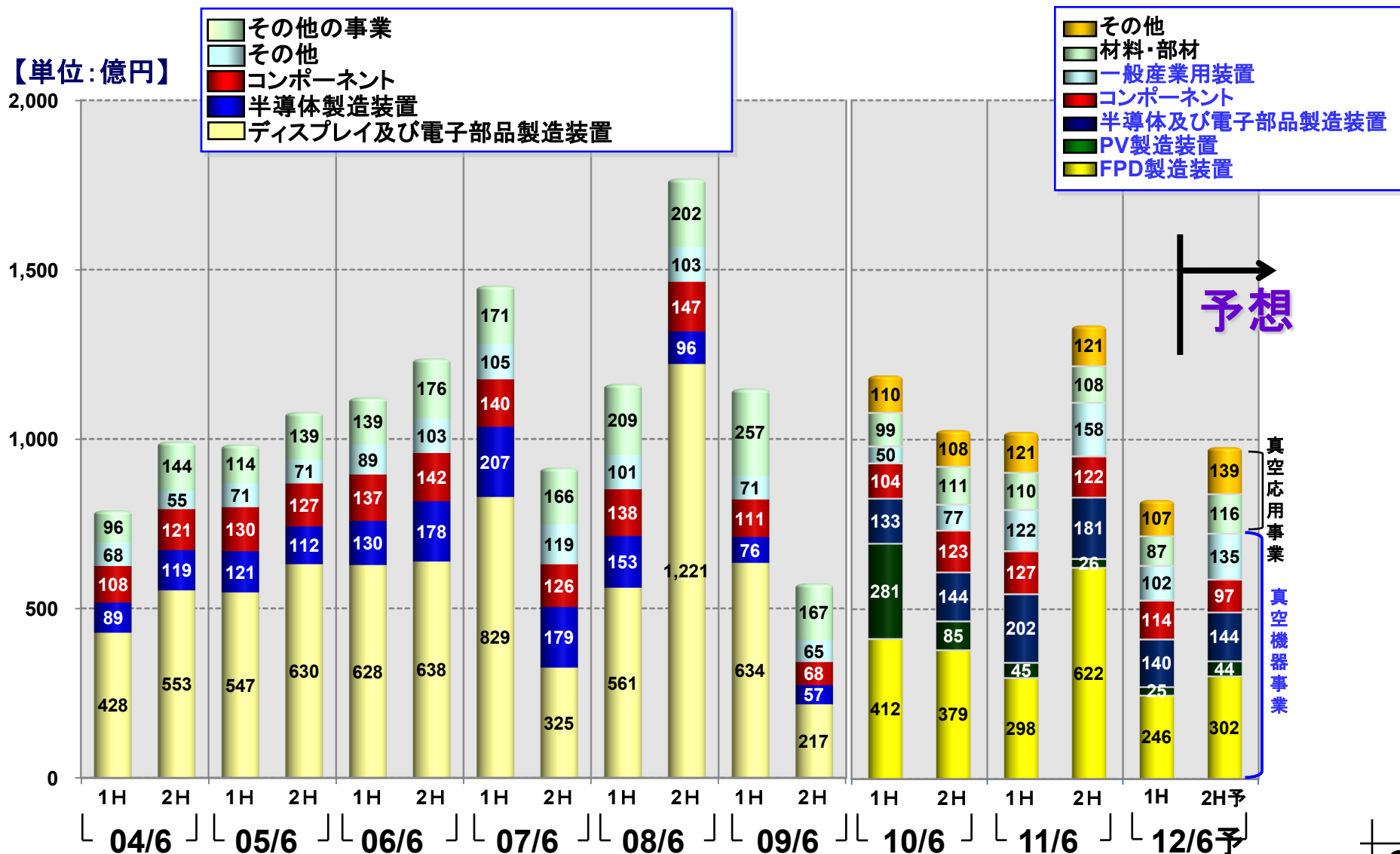


11/6期 2Q(累計)			12/6期 2Q(累計)			前年同期比 (増減率)
セグメント	売上高	構成比	売上高	構成比		
真空機器事業	1,004	84.1%	967	83.6%		-3.6%
FPD製造装置	531	44.5%	544	47.1%		2.5%
PV製造装置	112	9.4%	30	2.6%		-73.3%
半導体及び電子部品製造装置	155	13.0%	170	14.7%		9.7%
コンポーネント	132	11.0%	123	10.7%		-6.3%
一般産業用装置	74	6.2%	100	8.6%		35.0%
真空応用事業	190	15.9%	190	16.4%		-0.4%
材料・部材	104	8.7%	91	7.8%		-13.0%
その他	86	7.2%	99	8.6%		14.9%
合計	1,194	100.0%	1,157	100.0%		-3.1%

		1Q		2Q	
セグメント	売上高	構成比	売上高	構成比	
真空機器事業	503	84.3%	464	82.9%	
FPD製造装置	275	46.1%	269	48.1%	
PV製造装置	19	3.2%	11	2.0%	
半導体及び電子部品製造装置	83	14.0%	86	15.4%	
コンポーネント	69	11.6%	54	9.7%	
一般産業用装置	56	9.4%	44	7.8%	
真空応用事業	94	15.7%	96	17.1%	
材料・部材	46	7.6%	45	8.0%	
その他	48	8.1%	51	9.1%	
合計	597	100.0%	560	100.0%	

品目別受注高推移・予想

添付資料



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

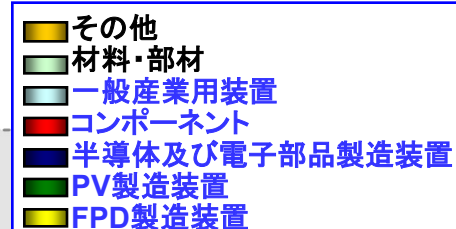
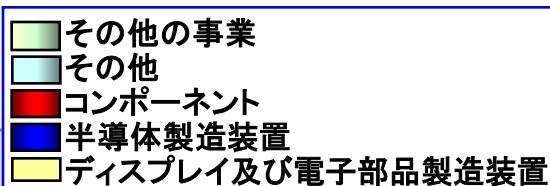
2010年6月期よりセグメント及び品目の名称が変更されています。】

品目別売上高推移・予想

添付資料

【単位:億円】

2,000



予想

真空応用事業 真空機器事業

真空機器事業

2,000

1,500

1.000

500

0

1H 2H 1H 2H 1H 2H 1H 2H 1H 2H 1H 2H 1H 2H予

05/6 06/6 07/6 08/6 09/6 10/6 11/6 12/6予

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

2010年6月期よりセグメント及び品目の名称が変更されています。

Copyright ©2012, ULVAC, Inc. All rights reserved

真空テクノロジーで
「つくる」をつくる、アルバック

ULVAC